

熊本西高等学校
学校改革の取り組み



自己紹介 熊本西高等学校長 柿下耕一

- 県教育委員会勤務（ICT担当）を経て管理職に
- 校長として3校目（熊本西高等学校）
- 前任校の鹿本商工高等学校、翔陽高等学校でも学校改革に取り組む
- 鹿本商工高等学校（学校改革プロジェクトモデル校）
 - 日課の変更、行事・会議削減などの各種学校改革、アクティブラーニング授業への転換
- 翔陽高等学校
 - 行事、分掌業務、人員を20%削減し、1人1分掌体制へ
 - 全教室へのICT環境の整備

熊本西高等学校について

- 創立44年目、熊本市の西部地区に立地
- 普通科（7クラス）、普通科体育コース（1クラス）、理数科（1クラス）
- 1学年9クラス、1038名の生徒、78名の職員
- 文武両道の精神のもと、勉強とスポーツの両立を目指す
- なぎなた、女子柔道、陸上、水泳、ラグビー、ウェイトリフティングが全国大会に出場
- 野球 九州大会ベスト8（春の選抜大会 21世紀枠の九州地区候補校）
- 国立教育政策研究所教育課程研究指定校 H29～H30年度
「論理的思考力と表現力を育てるチーム西高としての組織的な取組に関する研究」
- 国公立大学進学者 毎年20名程度

熊本西高等学校の課題

- **入学者の定員割れ**
(理数科の定員割れが学校全体に影響)
- **担任が生徒指導に苦慮**
(支援が必要な生徒の増加、保護者対応の長期化)
- **職員の多忙感が大きく、生徒と向き合う時間の確保ができない**
(担任・副担任をしながら分掌業務、行事や放課後の会議も多い)
- **部活動も盛んで、時間外勤務も多い**
(平成29年度 超過勤務時間の月平均 64.34 h)



課題解決に向けた取組（学校改革）

学校改革の目的

目的が明確でスピード感を持った改革であること

- ① **生徒指導の充実（生徒と向き合う時間の確保）**
- ② **学校の魅力向上**
- ③ **入試状況の改善**



校長（管理職）のリーダーシップ

トップダウンの取組

校長のリーダーシップ

● 職員の負担軽減と生徒と向き合う時間の確保のために

- ① 日課の変更、面談時間の確保（年度途中でも）
- ② 課外を希望制に（年度途中でも）
- ③ 働きやすい環境作り
- ④ 校務分掌・行事の見直し（次年度に向けて）
校務棚卸表による業務の見える化と削減

● しかし、職員と協働しながら進めることが大事



トットップダダウン

日課の変更

- ・ 放課後の生徒を指導する時間の確保
- ・ 朝読書を5分短縮、7限授業日は掃除をカット
- ・ 環境美化の観点から7限授業日を火曜・水曜から火曜・木曜とする

面談時間の確保

- ・ 放課後に生徒面談の時間を確保し、指導の充実を図る
- ・ 各学期に1週間の面談週間を確保（45分授業対応）

課外の変更（10月から希望制へ）

- ・ 全員課外を止め、原則、希望制へ
- ・ これまでの復習中心から予習を必要条件とする発展的な内容に変更
- ・ 国公立大学希望者については、1・2年次から個別指導も併せて開始
- ・ 課外未受講者には、8時から朝自学を実施

働きやすい環境づくり（学校改革通信からの抜粋）

（１）定時退庁日の設定

ア 定期考査期間、ライトダウン実施日などは、学校全体の定時退庁日とする。

イ 週１回の部活動休養日は、原則、定時退庁日とする。

ウ 家族・本人の誕生日、結婚記念日など、個人的なメモリアルデーは、定時退庁に努める。

（２）夕礼の実施

時間外勤務を実施する場合は、勤務時間終了（１７時）のチャイムを合図に起立し、近隣の職員に、本日の退庁時間を互いに申告し、計画的な業務につなげる。

（３）部活動練習時間の厳守

本県が定める部活動練習時間、平日３時間、休日４時間を厳守するとともに、定期考査前など学校が定める休養日については、その意義を踏まえ、確実に実施する。

なお、練習計画は学校ホームページで事前に周知する。

（４）学校閉庁日の実施

平成３０年８月１１日（土）～８月１５日（水）の５日間は、学校閉庁日とし、校内・校外を問わず、部活動等も実施しない。

校務分掌・行事の見直し（職員の負担軽減と生徒と向き合う時間の確保）

●各分掌の主任・主事に対して

- ・改革実現のための機能的な組織運営を求める。

- ①業務の見える化と総量把握
- ②業務・事業の20%程度削減
- ③学校行事の20%程度削減
- ④学年会や分掌会の回数減
- ⑤出張の削減（内容や参加人数）
- ⑥部活動顧問数の削減
- ⑦PTA活動の効率化

- ・ 担任をフリーに
- ・ 1人1分掌体制へ

- ・ 1 1月末までに校務棚卸表と削減案を提出
- ・ 1 2月に校長と主幹教諭で査定
- ・ 次年度へ反映



校務分掌の見直し（校務棚卸表）

校務棚卸表

総務部

分掌区分					業務量				年間業務量							
No.	分掌名	No.	小分掌名	時期	業務内容	1回あたり 時間	頻度									
							日	週		月	年					
1	総務全般		新年度の準備	4月上旬	職員会議の資料作成等	5				1	5					
					4月4日 入学式要項作成	10				1	10					
					4月4日 新転入者オリエンテーション	2				1	2					
					4月3日 入学式パンフレット作成	3				1	3					
					4月6日 職員室座席表作成	3				1	3					
					4月6日 レターケース、棚名前張り替え	2				1	2					
					卒業式	2月22日 卒業式実施要項作成	10				1	10				
						1月17日 卒業式案内作成・配付	3				1	3				
					入学式	3月8日	入学式案内状作成・配付	2				1	2			
							入学式配布物の袋詰め	2				1	2			
							総務部会	通年	部会資料作成	0.5		1		24		
					2	式典		始業式・終業式		司会	1.5				6	9
										司会準備	1				6	6
卒業式	2									1	2					
3月	司会	2									1	2				
2月	司会・設営	8									1	8				
2月	司会準備	2									5	10				
4月	入学式	2									1	2				
4月	会場設営	4									1	4				
4月	司会準備	2									3	6				
7月・3月	退任式	1									2	2				
7月・3月	司会準備	1									2	2				
	表彰式	0.5									6	3				
	表彰準備	4									6	24				

校務分掌の見直し（校務棚卸表から見えた業務量）

分掌名	業務量（h）	分掌名	業務量（h）
総務部	907	図書部	274
教務部	2871	教育相談部	46
生徒指導部	461	セミナーハウス	9
進路指導部	585	人権教育	70
保健体育部	608	理数科	278
体育コース	209	特進コース	210
		総計	6528

校務分掌の見直し（H31年度に向けた削減量）

分掌名	業務量（h）	分掌名	業務量（h）
総務部	103	図書部	66
教務部	262	教育相談部	0
生徒指導部	8	セミナーハウス	1
進路指導部	98	人権教育	2
保健体育部	10	理数科	10
体育コース	27	特進コース	0
		総計	587

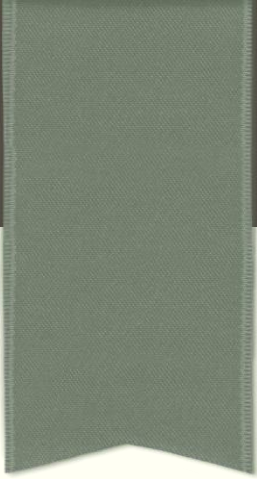
2
10
0
間接的な削減は
含まず

校務分掌の見直し（H31年度に向けた各分掌部の削減人数）

分掌名	人数	分掌名	人数
総務部	14 → 10 -4	図書部	9 → 5 -4
教務部	16 → 12 -4	教育相談部	5 → 7 2
生徒指導部	15 → 11 -4	セミナーハウス	1 → 0 -1
進路指導部	14 → 11 -3	人権教育	1 → 0 -1
保健体育部	10 → 10 0	進連協事務局	0 → 2 2
		※教育相談部と人権教育は統合、セミナーハウスは総務部へ	
	総 計	85 → 68	-17

行事の見直し（H31年度に削減する行事等）

- ・ 1 学期中間考査
- ・ 課題考査【4月、9月、1月】（2日→1日）
- ・ 自宅学習時間調査（6月）
- ・ 1 学期学年保護者会
- ・ 2 年生セミナー宿泊研修
- ・ 長距離走大会
- ・ 各種講話の3年間を見通した設定による削減
- ・ 模擬試験の削減（1年：1回、2年：2回、3年：4回）
- ・ 系統別模擬授業
- ・ 長期休業中の課外（個別指導のみ実施）



学校改革による人材育成

ボトムアップの取組

(NEXT西高プロジェクト)

学校改革による人材育成

●若手の人材育成

- ・次の熊本西高校を担う教職員に特命を与え人材育成を図る
- ・課題解決に向けた状況把握、課題の整理、改善のための方策の検討など
- ・各部と連携した実践をとおり、学校改革の取組を進化（深化）させる

「NEXT西高プロジェクト」

- ① 学校改革
- ② 学校魅力向上
- ③ 生徒募集

20～40代 計17名

- ・プロジェクトメンバーによる自由討論（当面は、2週間に1回程度）
- ・会議日時は、日程が折り合えば、主幹教諭、校長も参加
- ・月1回は、進捗状況等について校長に報告
- ・新規提案の実施にあたっては、運営委員会や各部と連携し、実施



ボトムアップ

学校改革PT

○ 検討内容

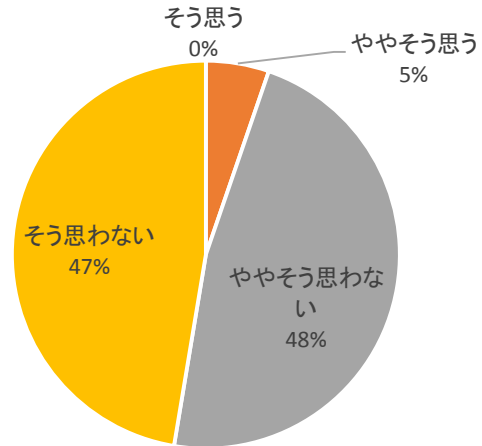
- ・本校の課題
- ・現状把握のための職員アンケート内容とその実施方法
- ・業務軽減、生徒と向き合うための時間確保
- ・課外（ゼミ）のあり方
- ・時間確保のための日課変更（朝読書・掃除時間）
- ・部活動のあり方、顧問の人数配分
- ・全クラス副担任制の是非

○ 現時点で実施できたこと

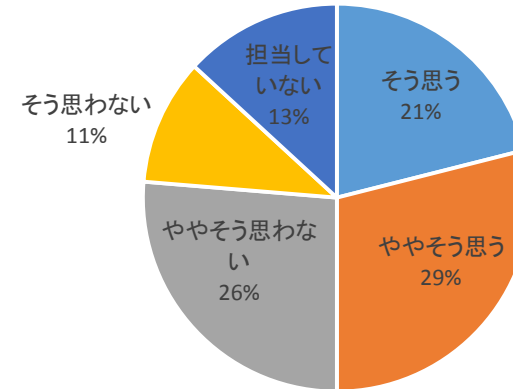
- ・職員アンケート実施（6月25日～7月2日）…formsを利用
- ・日課の変更
- ・課外（ゼミ）を希望制へ

学校改革PT 職員アンケート調査（6月実施）一部抜粋

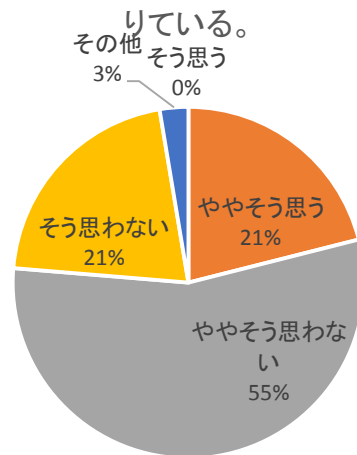
質問25:本校職員はゆとりを持って仕事をしている。



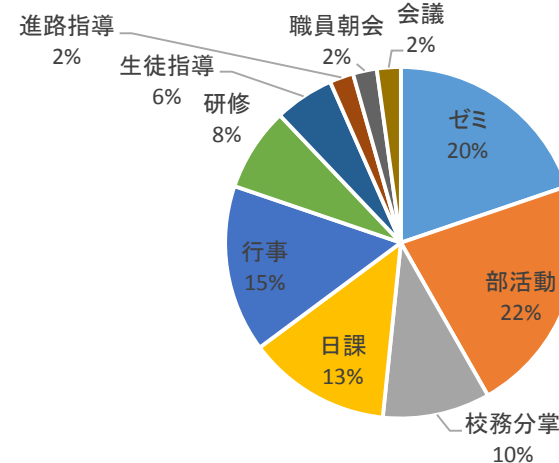
質問33:今のゼミにおいて多忙感がある。



質問40:生徒の変化に応じて個別に面談する時間は足りている。



質問41:生徒と向き合う時間確保のために変えたいところは。(複数回答可)



学校魅力向上PT

- 検討内容
 - ・制服（男子夏シャツ、女子冬セーター）
 - ・創立記念祭の内容改善
 - ・セミナーハウスの宿泊研修について
 - ・考査前の自習場所の確保について

- 現時点で実施できたこと
 - ・生徒ホールに自習スペースを設置

生徒募集PT

○ 検討内容

- ・このプロジェクトの使命とは
- ・効果的な広報について
- ・学校説明会の内容について
- ・体験入学（夏・秋）の内容について

○ 現時点で実施できたこと

- ・体験入学（夏・秋）への部活動体験の導入・実施
- ・学校説明会（各中学校）でのプレゼン資料の作成と中学校での説明

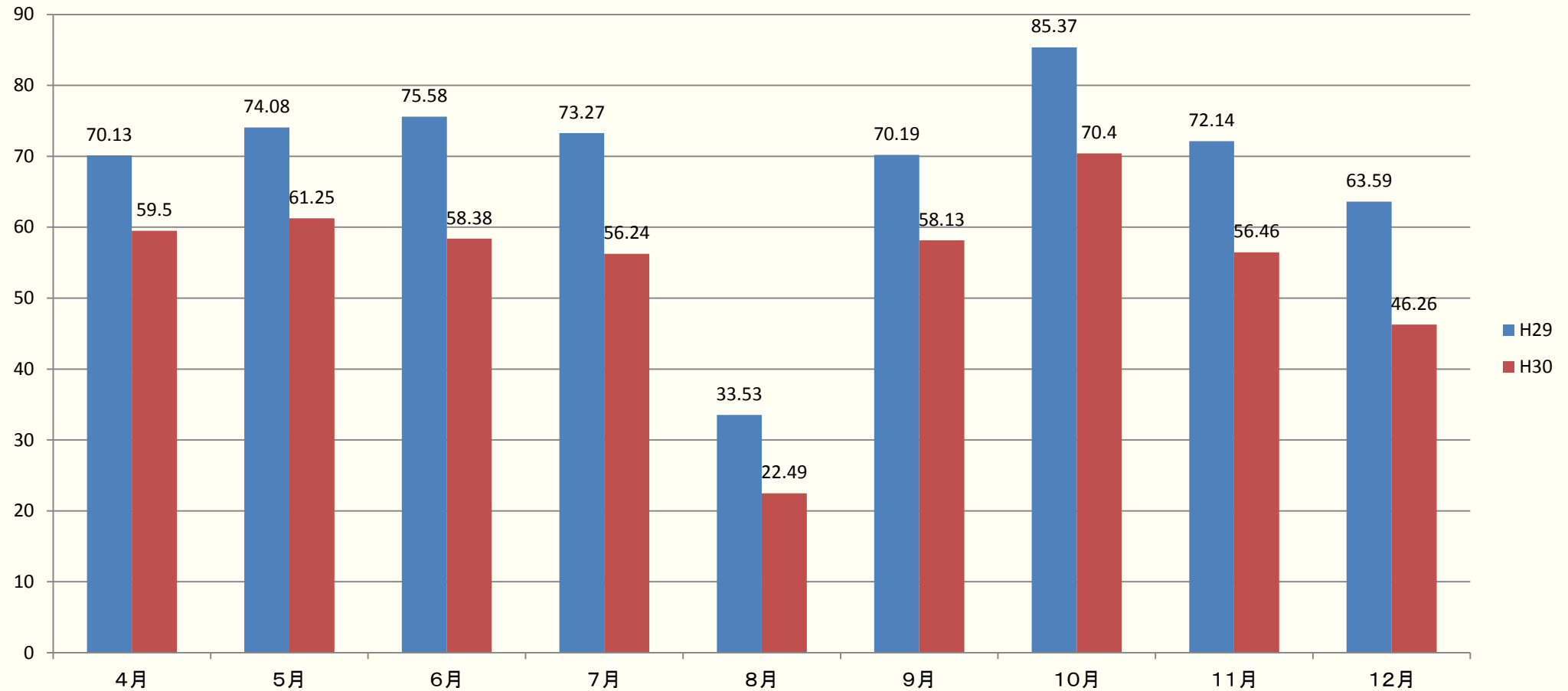
学校改革の**ポイント**

- ★ **改革のスピード感や変化を先生方に感じてもらうこと**
- ★ **トップダウンだけではなく、ボトムアップの取組も必要**



学校改革の効果

超過勤務時間 月平均で20%削減 (69.29 h → 55.26 h)



進路実績の向上（国公立大学合格者数）

○ AO入試

H29年度 2名

H30年度 7名

○ 推薦入試

H29年度 13名

H30年度 13名

○ 一般入試

H29年度 5名

H30年度 ?名

○ 総計

H29年度 20名

H30年度 **20名+?名**

部活動実績の向上

- 熊本県高校総体（団体優勝）

 - なぎなた、女子柔道、ラグビー、陸上（男子フィールドの部）、ウェイトリフティング（男子）

- インターハイ

 - なぎなた、女子柔道（団体5位）、陸上、水泳、ウェイトリフティング

 - 女子柔道 48kg級 白石（2年）準優勝

- 全国大会

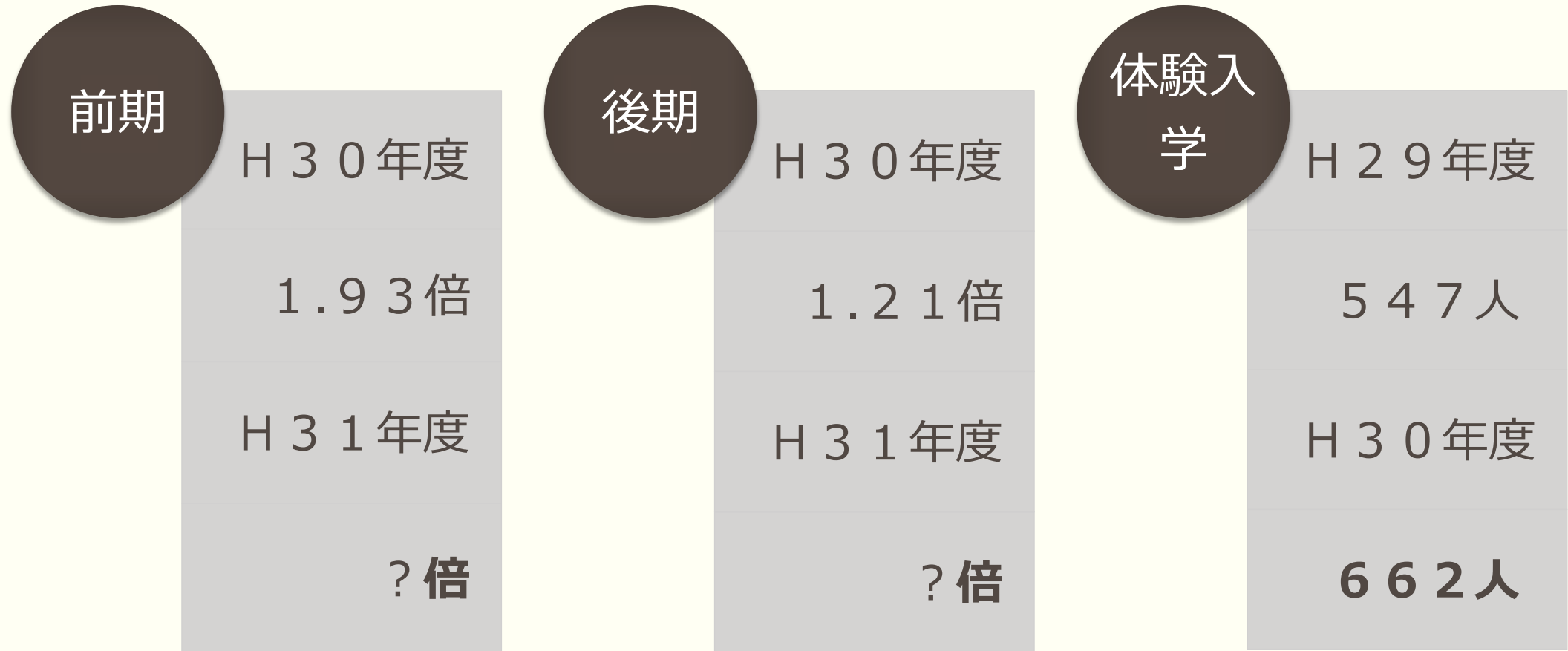
 - なぎなた、陸上、ラグビー、女子柔道、水泳

- 野球

 - 九州大会ベスト8（春の選抜大会 21世紀枠の九州地区候補校）

定員割れの解消

- 学校改革は、職員・生徒に変化があり、魅力ある学校として伝わる。



学校改革の取組で良くなったところ

●「生徒指導の充実（生徒と向き合う時間の確保）」

実感すること

- ①放課後の時間に余裕ができた
- ②生徒と個別に話せる時間が増えた
- ③職員同士で生徒の情報交換や相談をする余裕がでてきた

●「生徒の変容」

実感すること

- ①朝のSHRから疲れている生徒が減った
- ②掃除が週三回になったことで、より意識して清掃をするようになった
- ③部活動や進路での実績向上

今後の取組（今年度末までに）

- 担任と副担任の分掌業務の持ち方を整理
- 部活動数や顧問数の削減
- 出張の削減（内容や参加人数）
- 教務規定等の校内規定の見直し
- 学校徴収金の精査

学校改革、その他の**ポイント**

★改革を進めるには、校長を含む教職員の意識改革が必要

現状把握・認識、アイデア、行動力、伝達力、情報、共感

★行事や業務を大きく削減できるのは、管理職

あきらめも大事、捨てることへの勇気

★改革で100点を取る必要はない

あと残り何点の少数の意見を知っていることは大事



熊本西高等学校の改革を更に推進します

ご静聴ありがとうございました